



2023年11月11日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2023年秋季年末闘争No.12

2023年度推進ニュース③通算313号

発行責任者 小島 茂

## 交運共闘&全労連・春闘共闘&各部会など 建交労は多様な11.10中央行動を展開！

建交労は11月10日に、山場に入った「秋季年末闘争の結節点」として国会・霞が関周辺を中心とする中央行動を交運共闘（建交労・自交総連・検数労連・海貨労協・全税関・国土交通労組で構成）及び全労連・春闘共闘の仲間とともに実施しました。交運共闘も過去3年間コロナ禍の影響で全国的結集を控えざるを得ませんでした。今年4年振りに全国からの結集を呼びかけて300名を超える交運共闘の仲間が行動に参加しました（建交労からは約130名の組合員が結集）。

行動の流れは恒例によって午前10時から国土交通省・厚生労働省・経済産業省前での宣伝請願行動からスタートしました。国交省前から開始した行動は光部事務局長（検数労連）の進行です。すめられ主催者の高城議長（自交総連）と来賓の全労連・石川副議長、仁比聡平日本共産党参議院議員から「タクシーの白タク・ライドシェア解禁に反対、トラックの2024年問題とトラック労働者の安全と生活擁護など国民生活の安全・安心にかかわる交通運輸労働者の状態改善を求める挨拶があり請願行動に移りました。

請願行動を行う間に、交運共闘加盟の各労組代表による決意表明が行われ、建交労では鈴木書記次長がマイクを握りトラック労働者の現状を抜本的に改善するよう訴えました。



上写真左から仁比議員、石川副議長、高城議長  
光部事務局長、下の写真の中央は鈴木書記次長



このあと厚労省請願、経産省前宣伝請願とつづき、経産省前の行動（左下の写真）では、交運共闘としての行動を締めくくる挨拶が山崎副議長（国土交通労組：左上の写真）からあり、つづく団結ガンバラウのあと各加盟組合の行動に移りました。

縦長の写真左は神奈川県南支部の小島委員長、右は和歌山県本部の庄司書記長（請願行動を行う2人）

# 神奈川県南支部は小島委員長はじめ3名がトラック部会の最高裁前行動などに結集！

建交労は交運共闘としての行動のあと、午後からは角田中央委員長をはじめとする仲間が全労連・国民春闘共闘・国民大運動実行委員会が主催する日比谷野外音楽堂での決起集会&国会請願デモに結集し、他の建交労の仲間は各部会による独自の行動のグループに分かれ「全国高齢者・事業団部会による厚労省交渉、全国学童保育部会の国会議員要請行動、鉄道本部による国交省交渉、建設産別対策委員会の第39次ゼネコン本社要請行動、全国トラック部会の最高裁前行動、厚労省・国交省交渉、国会議員要請行動」など、終日に渡り多様な行動を展開しました。神奈川県南支部から参加した小島委員長、須田執行委員、赤羽特執の3名は全国トラック部会の行動に結集しました。

全国トラック部会の午後の行動は、途中から降りだした小雨のなかを経済産業省前から約30分かけて最高裁判所前まで徒歩で移動することからスタートです。最高裁前では関西合同支部大陽液送分会大田貨物班が、大陽液送(株)と大田貨物運送の偽装請負による賃金差別の是正を求めた裁判で大阪地裁・大阪高裁が下した判決の不当性を告発して公正な判断を行うよう求めた(最高裁への)上告を

速やかに受理するよう訴える宣伝行動を展開しました。

右上の写真3枚は上から全国トラック部会の足立部会長(左)と鈴木事務局長(右)、中段は最高裁の門前で横断幕を広げる仲間、下段右側は関西合同支部の長谷川副委員長(大田貨物班)

左の写真3枚は上から全国トラック部会の緒方事務局次長(右)と上村副部会長(左)、中段は全国酸素部会の相澤部会長(左)と全国トラック部会の鈴木事務局長(右)、下段は「団結ガンパロウ」をする全国トラック部会の松澤副部会長(左)と同部会の筒井幹事(中)

最高裁前での宣伝行動を終えた全国トラック部会の仲間は、昼食休憩後に衆議院第一議員会館に集合し厚生労働省・国土交通省交渉と国会議員136名への要請行動(国土交通委員「衆議院44名・参議院26名」&厚生労働委員:衆議院42名・参議院24名)を行うグループに分かれ、この日最後の行動を展開しました。神奈川県南支部では小島委員長が厚生労働省・

国土交通省交渉に、須田執行委員と赤羽特別執行委員は議員要請行動に配置されそれぞれに行動を行って終日行動を終えました。(左の2枚の写真は、厚労省及び国交省の担当官に要請書を渡す足立部会長)

